

## 第2回 柏原市公共施設等総合管理計画専門委員会 会議録

日 時	平成28年8月31日（水）午後14時から16時まで
場 所	柏原市別館3階フローラルセンター
出 席 者	○柳原崇男 委員（近畿大学 理工学部 社会環境工学科） ○立花直樹 委員（関西福祉科学大学 社会福祉学部 社会福祉学科） ○碓田智子 委員（大阪教育大学 教育学部 教養学科） ○石橋敬三 委員（柏原市 政策推進部） ○平尾雅則 委員（柏原市 都市デザイン部）
事 務 局	○柏原市 政策推進部 企画調整課
第2回次第	1 第1回専門委員会の意見反映について 2 公共施設等総合管理計画の全体方針について 3 数値目標について 4 類型別施設方針について 5 再配置の基本的な考え方と検討結果について 6 今後のスケジュールについて

### 委員会の内容

1 第1回専門委員会の意見反映について	<p>○事務局が次の資料に沿って説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1 各検討項目における施設分類</li> <li>・資料7 第1回 柏原市公共施設等総合管理計画専門委員会における意見、指摘事項とその対応について</li> </ul> <p>●資料7 第1回 柏原市公共施設等総合管理計画専門委員会における意見私的事項とその対応について</p> <p>【委員意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①ポートフォリオの内容について確認したい。</li> <li>②「築年数」、「耐震性」、「バリアフリー化の状況」等のハード指標のうち、「バリアフリー化の状況」の評価基準がアバウト。根拠説明が必要である。</li> <li>③第2回資料の6で、ある施設は災害リスクが高いとされている。しかし、施設評価は「維持」である。災害リスクが高ければ「ハード面で改善の余地あり」となる。どのような観点で「維持」としたのか。</li> </ol> <p>【事務局回答】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①前回は、建物の築年数とコストの2つの指標を評価軸にし、「用途廃止」、「維持」など4つの事象に分類していた。今回は、意見を反映し、評価観点を増やし、評点を偏差値化したこと、評価分類も「ハード面で改善の余地あり」、「要検討」など方向性を示すものとした。</li> <li>②バリアフリー法、ハートビル法など法基準の評価ではない。介助が必要な場合もあるが、スロープやエレベータなど、利用に当たって一定支障とならないような状態を評価した。</li> <li>③第2回資料6では、施設ごとに施設評価(建物の現状評価)と立地特性</li> </ol>
---------------------	--

	<p>評価(建物周辺の環境評価)と別々の評価結果を併記したもの。再配置案において、立地特性評価から災害リスクの高い方に統合という方針ができれば、ハード面を改善することになる。</p> <p><b>【結果】</b> 資料にはバリアフリー化の評価方法について説明を加えること。</p>
<p>2 公共施設等総合管理計画の全体方針について</p>	<p>○事務局が次の資料に沿って説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料2 柏原市公共施設等総合管理計画 現状と課題の整理および全体方針(案)</li> <li>・資料8 策定スケジュール</li> </ul> <p>●資料2 柏原市公共施設等総合管理計画 現状と課題の整理および全体方針(案)</p> <p><b>【委員意見】</b></p> <p>①公共施設の再配置には、「住みたくなるまち」、「魅力あるまち」の観点が必要。教育施設など特色のある教育を行えば、児童数は増える。年少人口が増えないと税収は増えない。教育施設の統廃合は、コストカットの観点しかない。</p> <p>②スケジュールで各課ヒアリングが予定されているが、現場の意見は計画に反映されるのか。</p> <p><b>【事務局回答】</b></p> <p>①教育では、子どもたちにとって、小規模教育がよいのか、大人数での教育がよいのかを検討された結果が、学校の適正規模、適正配置という答申になっている。公共施設等総合管理計画では、この基本方針を反映することになるが、一方、人口ビジョンの年少人口を維持していくという観点もあり、再配置を考えるに当たっては、現時点の児童数から算定される施設面積を超える部分は、将来的にも残るということを前提に、再配置を考える。</p> <p>②所管課が考えられていた課題や問題、その解決策などをヒアリングし、反映していく。</p> <p><b>【結果】</b> 全体的な方針は、事務局提案の内容で進めていく。</p>
<p>3 数値目標について</p>	<p>○事務局が次の資料に沿って説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料3 数値目標の検討資料</li> </ul> <p>●資料3 数値目標の検討資料</p> <p><b>【委員意見】</b></p> <p>①数値目標の設定の大前提は現状規模からの削減。現状で不満な施設は、人口減少に合わせて施設面積が減ると不満足まま。すべての施設が、現状で満足されている根拠はあるのか。</p> <p>②人口減少に合わせて施設面積を減らすことは理解できるが、人口を</p>

	<p>増やすための施設面積を考えてもよいのでは。</p> <p>③市民意識調査の結果が悪化しているのであれば、現状を基本とした再配置案は無理があるとする。</p> <p>④財政が厳しいから削減するのはよいが、厳しい財政の中で余剰部分を活用することができるのか。</p> <p>⑤施設の長寿命化について確認したい。コストをかけてでも長寿命化を図っていくということか。</p> <p><b>【事務局回答】</b></p> <p>①一律に減らすということではない。現状の利用状況等を維持していくということ。将来の人口構成から削減できない施設もあり、総量での縮減を検討していく。また、施設によっては量から質へという考え方もあるので、ヒアリングで現場の声を聞き、検討していく。</p> <p>②施設面積は減らすが、再配置により利便性が高まる。そういう再配置案を考えていく。そのために、施設の統合や複合化には一定の数値基準を設けていく。</p> <p>③市民意識調査は行っているが、基本的に総合計画の施策に関するものであった。昨年「住みやすい」、「住みにくい」などの設問を設けた。住みやすさについては一定レベルの評価を受けている。今後は、市民意識調査、市政モニターで施設に対する設問を設け、把握していくことを考えている。</p> <p>④本市では、公共施設の整備に民間活用の導入に向けた取組を進めている。そこで、公共施設等の管理に関する基本的な考え方にも、PPP／PFIの利用を方針に加えた。</p> <p>⑤単純に大規模改修や施設更新の時期を、5年ずつタイミングを遅らせ、財政負担を軽減させるというもの。全施設がこの方法を導入できるものでもなく、あくまで参考である。</p> <p><b>【結果】</b></p> <p>数値目標は21.3%として、再配置等を検討していく。</p>
<p>4 類型別施設方針(レイアウトイメージ)について</p>	<p>○事務局が次の資料に沿って説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料4 類型別施設方針(イメージレイアウト)</li> </ul> <p>●資料4 類型別施設方針(イメージレイアウト)</p> <p><b>【委員意見】</b></p> <p>①レイアウトイメージには、立地、近隣性、災害リスク情報が省かれているが。</p> <p>②公共施設は災害避難場所となる。バリアフリーやアクセシビリティについてもヒアリングをしておく必要がある。</p> <p><b>【事務局回答】</b></p> <p>①立地特性評価は再配置案に必要な評価であるが、ヒアリング時の参考資料として、所管課には配付する。</p> <p>②バリアフリーは施設の個別調査で実施していますが、課題等はヒア</p>

	<p>リングで確認する。</p> <p><b>【結果】</b> ヒアリング結果は次回の専門委員会で提示すること。</p>
<p>5 再配置の基本的な考え方と検討結果について</p>	<p>○事務局が次の資料に沿って説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料5 再配置の基本的な考え方とその検討結果</li> <li>・資料6 再配置（案）の検討資料</li> </ul> <p>●資料4 類型別施設方針（イメージレイアウト）</p> <p><b>【委員意見】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①統合化と複合化の定義について確認したい。</li> <li>②試案では駐輪場の統合化が多いが、不法駐輪の状況を見ると、単純に統合してもよいものか。</li> <li>③地域の根幹施設という観点では、学校と駐輪場が一律に並んでいることに違和感がある。</li> <li>④幼稚園と保育所の再編整備や市立小・中学校の適正規模・適正配置など公表された計画か。他市では市民の反対を受けた事例も見受けられる。</li> <li>⑤近隣市との広域利用は考えられるか。</li> </ol> <p><b>【事務局回答】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①同じ機能の施設を合わせるものを「統合化」、違う機能の施設をわせるものを「複合化」と定義している。</li> <li>②利便性を落として不法駐輪が増えてはいけいないので、統合や縮小化については、担当課にヒアリングを行い、検討する。</li> <li>③取りまとめ方について工夫したい。</li> <li>④上位計画としているものは公表済みであり、今後も再配置案やアクションプログラムの公表、実施に向けた市民への説明等、丁寧に進める方針。幼稚園と保育所の再編整備は、審議会への市民参加、諮問、答申、基本計画という手順でしっかりと進めている。全員賛成ということはありませんが、大きな反対があったとは聞いていない。</li> <li>⑤近隣市も計画策定に取り組んでいるところ。各市の施設のあり方が示されてから、広域利用等に進むと考えている。</li> </ol> <p><b>【結果】</b> 委員会はまとめ方について一定理解。今後、目標数値や類型別方針を加え素案とする。</p>
<p>6 今後の予定について</p>	<p><b>【結果】</b> 第3回専門委員会開催は、11月29日（火）17：30の予定</p>